

# 手足口病に注意！

## ○ 手足口病とはどのような病気ですか？

手足口病は、その名が示すとおり手や足、口の粘膜に現れる水疱性の発疹を主症状とします。潜伏期間は3～5日で、発症者の3分の1で軽度の発熱（38℃以下）がみられます。発疹は、3～7日程度で消失します。病気の原因となるウイルスは、主にエンテロウイルスです。

1～4歳くらいまでの乳幼児がかかりやすい病気で、主に夏に流行します。



## ○ 手足口病にかかったら？

特別な治療法はなく、症状を楽にする方法（対症療法）が行われます。口の中に水疱ができるため、食事や水分がとりにくくなり、脱水症状を起こすことがあります。柔らかく刺激の少ないものを摂取しましょう。

## ○ 感染経路は？

咳やくしゃみなどによる飛沫感染や、接触感染、糞口感染（便の中のウイルスが口に入って感染すること）が知られています。乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。



### 感染予防のポイント

- ★ 流行時は、うがいや手洗いを励行しましょう。
- ★ 帰宅したとき、トイレの後、調理や食事の前の手洗いを徹底しましょう。
- ★ 症状がなくなっても、しばらくは便の中にウイルスが排出されるので、処理をする時は使い捨て手袋やマスクを着用し、終わった後は手を洗いましょう。



山形県